

(対象期間：2022/4/11～2022/4/15)

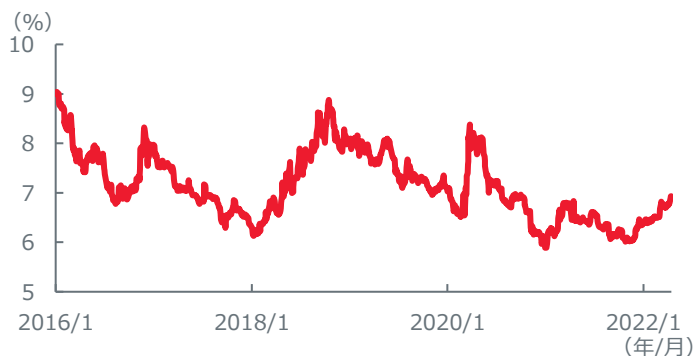
【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年4月14日)

【株式市場】

週初、世界的にインフレリスクと金融引き締めへの懸念が高まる中で、大型株が下落し軟調となりました。12日はラマダン中の消費への期待などを背景に小売株などが買われ、やや上昇しました。13日は大手銀行株などが翌週の決算を前にして横ばいとなる中で、外国人投資家による資金流入が見られ株式市場は堅調となり、終値ベースで史上最高値を更新しました。14日は大手銀行株を中心に利益確定売りが見られた一方で、中国が金融緩和政策により景気回復を目指すとの期待から鉱業株などが大幅に上昇しました。株式市場は前週末比で上昇しました。

2022/4/8	2022/4/14	変化率
7,210.84	7,235.53	+0.34%

※15日は祝日のため休場

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年4月14日)

【債券市場】

週初、12日の国債入札を前にして利回りはやや上昇（価格は下落）しました。12日の国債入札では外国人投資家からの応札額は前回を上回りましたが、全体での応札額は前回はやや下回りました。そのため、発行額は当初の発行予定額の20兆ルピアに対して、11兆ルピアとなり、入札の発表後、国債利回りは上昇しました。その後も週末にかけて米国債利回りが上昇する中で、インドネシアの国債利回りも上昇しました。10年国債の利回りは前週末比で上昇しました。

2022/4/8	2022/4/14	変化幅
6.799	6.930	+0.131

※15日は祝日のため休場

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年4月15日)

【為替市場】

週前半に米国債利回りの上昇を受け多くの新興国通貨が軟調となる中で、ルピアは株式市場への資金流入などを背景に狭いレンジでの推移となりました。12日発表の米国の3月の消費者物価指数は前年同月比で上昇しましたが、市場では物価上昇のピークを付けたとみられ、ルピアはじり高となりました。しかし、週末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）高官のタカ派発言などを背景に米国債利回りが再び上昇したため、世界的に米ドル高傾向が強まりルピアは下落しました。ルピアは前週末比対米ドルでは横ばい、対円では上昇となりました。

2022/4/8	2022/4/15	変化率
0.8640	0.8793	+1.77%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。